

# 誰も教えてくれない 薬剤師の転職「新常識」

～ 転職新時代を生き抜くために～

- 01 昨今の転職市場について
- 02 転職激化時代を生き抜くために
- 03 転職成功の3つのポイント
- 04 キャリアコンサルティングについて

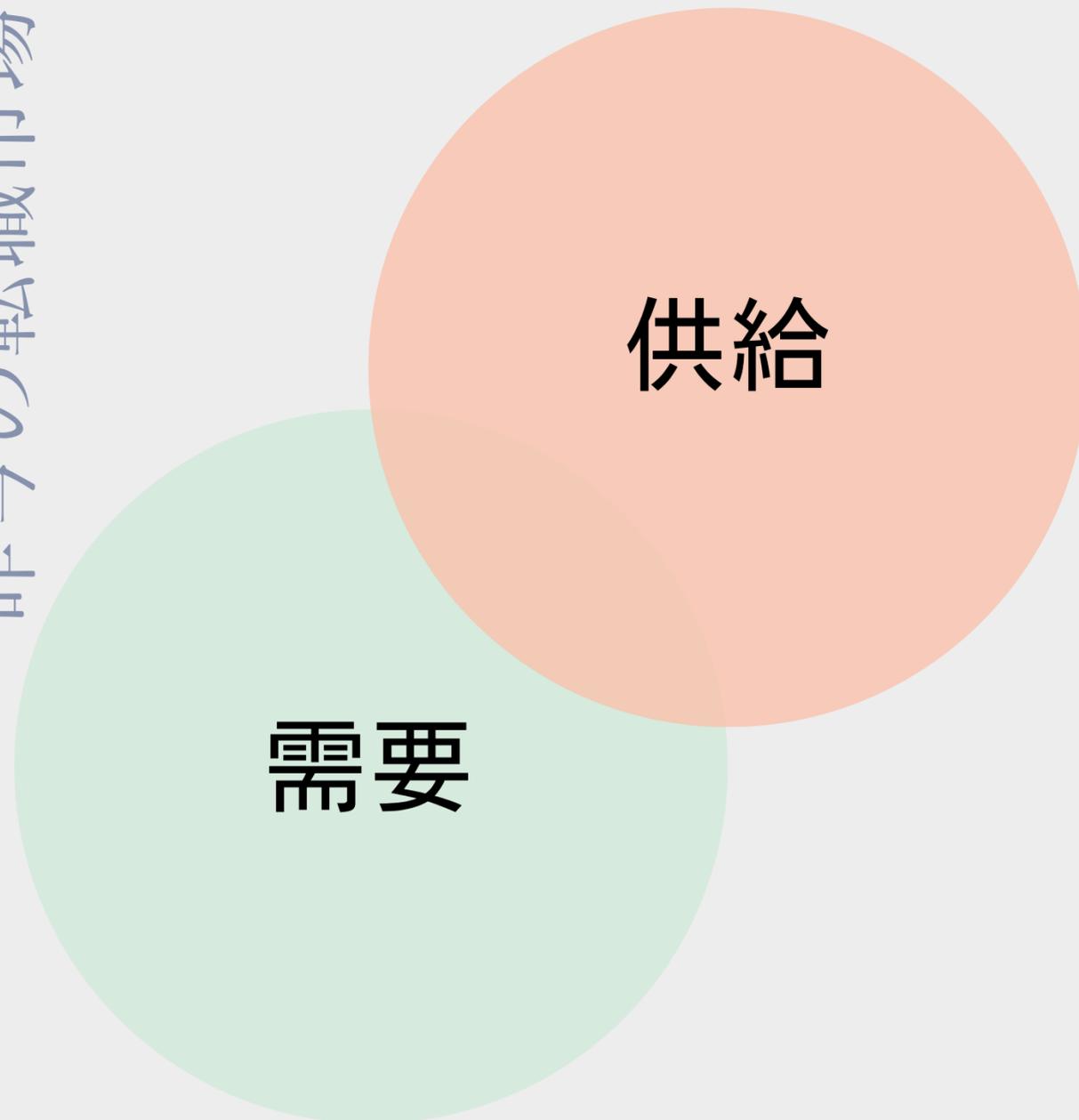
# 01

需要と供給のバランスの変化

「買い手市場」と「売り手市場」

求人の変化

# 需要と供給のバランス変化



「2021年頃に薬剤師の供給が需要を上回る」とする報告を2013年に薬学教育協議会がまとめました。

その予想は現実のものとなり、厚生労働省では、すでに供給過多のデータを発表しています。

地域偏在はまだまだあるものの、都市部を中心に少しずつ薬剤師の不足が解消され、人材の充足傾向にあります。

そのため、薬剤師の転職活動の在り方も、ここ数年で大きく変わりつつあります。

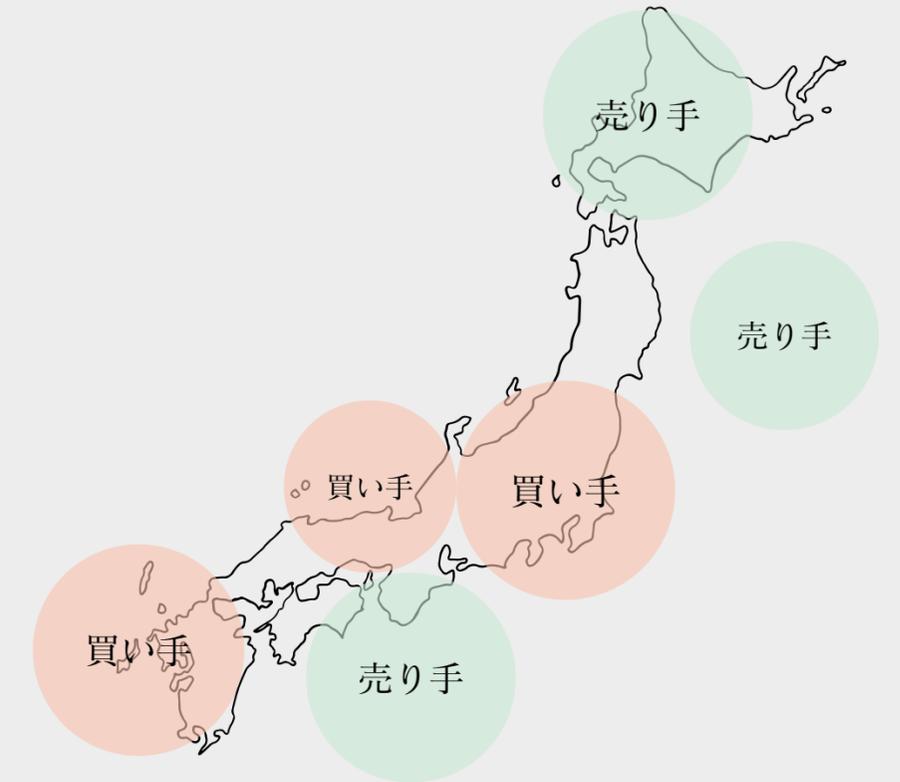
# 「買い手市場」と「売り手市場」

ここ数年の薬剤師転職市場では「買い手市場」「売り手市場」という言葉をよく聞くようになりました。これは、就職求人市場の需要状況を示す言葉です。

「売り手市場」は、就職したい薬剤師に対して、採用したい企業数が多く薬剤師側（求職者）にとって優位な状況です。

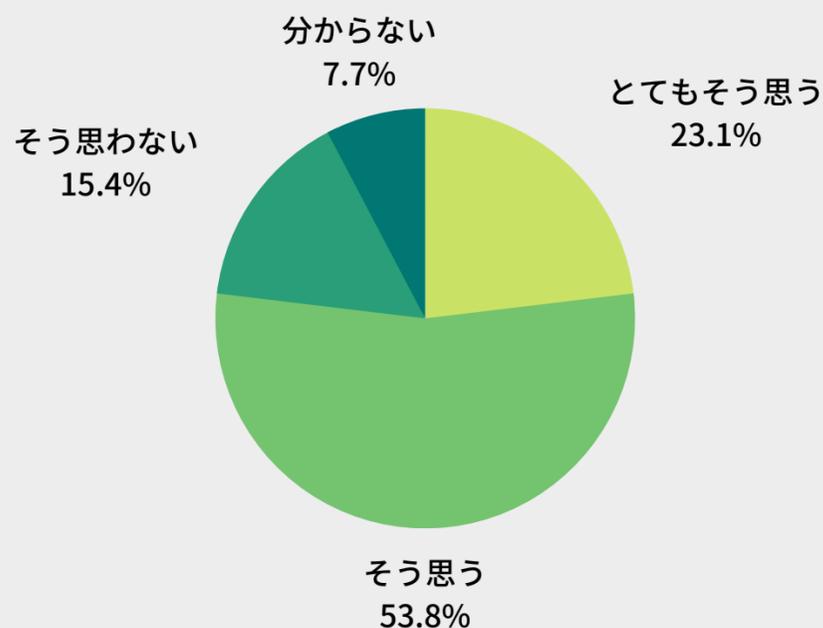
逆に、就職したい薬剤師に対して、採用したい企業が少なくなる場合は「買い手市場」となり、企業側が優位な状況となります。

このような、採用側が有利な「買い手市場」が首都圏や都市部を中心に広がっているのが、現在の薬剤師の転職市場となります。

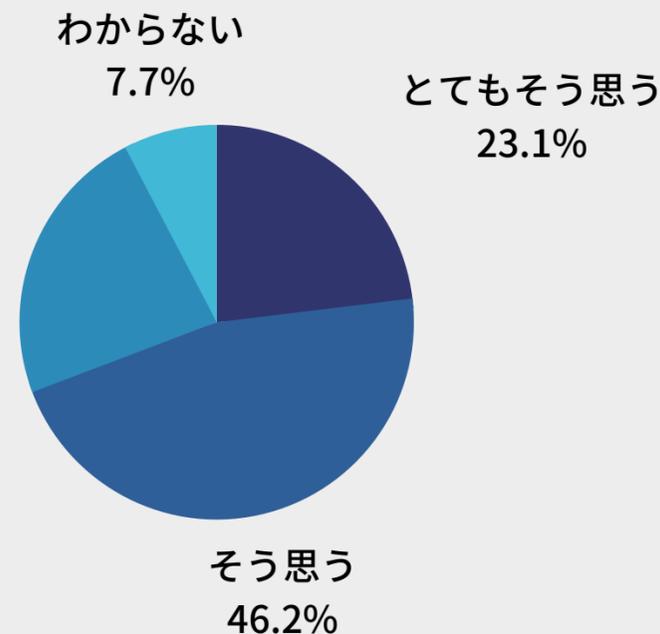


# 求人の変化

## ここ最近、薬剤師求人数が少なくなってきたと感じる



## ここ最近、薬剤師求人数が変化してきたように感じる



実際、弊社にご登録いただいた方にアンケートを取ったところ、『ここ最近、薬剤師求人数が少なくなってきたと感じる』という質問に対して「とてもそう思う」「そう思う」と答えた人は合計で76.9%。多くの方が、薬剤師の求人数の変化＝「買い手市場への変化」を感じている結果となりました。

また、『ここ最近、薬剤師求人の条件が変化してきたように感じる』について「とてもそう思う」「そう思う」と答えて人は合計で69.3%。以前と比べて、企業優位であることがわかる求人変化を感じられるケースが多く、年齢制限が厳しくなったり、思うように高額の年収が提示されないなどの条件の引き上げ等が見受けられるようになりました。

転職激化時代を生き抜くために

# 02

薬剤師『資格』 < 個人のスキル

個人や個性が評価される時代へ

# 薬剤師『資格』 < 個人のスキル



薬剤師の転職市場は、長らく「売り手市場」が続いていました。そのため、企業側は薬剤師の採用に苦戦を強いられ、人員不足により閉店やM&Aでの譲渡を余儀なくされるケースは、決して少なくありませんでした。

そういった時代背景から、薬剤師の『資格』を持っていること（＝最低限の店舗運営ができること）が採用の目線になり、個人の能力・スキル・ポテンシャルを考慮して採用活動を実施することは困難な状況でした。

都市部を中心に買い手市場へと転換している今、採用の基準も大きく変わりつつあります。今まで基準として入れることのなかった、能力や性格、勤務実績、強み・弱みなどを考慮し採用活動をしている企業が増えています。

転職激化時代を生き抜くために、自身のキャリアや強みなどを見直すことがポイントです。

# 個人や個性が評価される時代へ

採用の基準は以前と比べ、大きく変わりましたが決して悪いことばかりではありません。

今までは、どれだけ能力が高くポテンシャルがあっても一律に「薬剤師・有資格者」としか見られなかった状況から、「個人や個性」に目を向けた採用に切り替わっています。

在宅や地域コミュニティへの参加、組織マネジメントなど薬剤師の活躍する場は、病院や薬局の内側だけでなく大きく外へ外へと広がっています。

今まででは調剤業務とは関係のないとされ、日の目を見ることがなかった、個人の能力・個性はこれから大きく評価される場も増えるでしょう。

一口に「薬剤師」だけではなく、個人を評価される時代は決して暗いだけのものではありません。



# 03

転職条件の「難易度」を知る

自分との対話を大切にする

面接は事前準備が9割

# 転職条件の「難易度」を知る

ここ数年で、地域・年齢・施設形態・雇用形態・年収などの、  
こういった条件で転職するかによって、転職の難易度に大きくばらつきがあります。

特に、新型コロナウイルスの影響で、求人数が激減した際、  
派遣の求人はほとんどゼロに近い状態となり、その影響は今も続いています。  
派遣での継続勤務は、  
以前よりも難易度が高い状況となってしまいました。

また、求人市場が激化している都心でも  
在宅業務の経験者や各種資格を取得している方は  
優遇されるケースもあり、転職に有利です。

このように、自身の経験や転職条件として掲げているものは  
市場ではどのように評価されるか、または、  
どのような難易度かを知ることが成功のポイントです。



# 自分との対話を大切にする

転職活動を開始する前に、これからのキャリアや希望条件など、しっかりと整理することが大切です。

最近の面接官は採用基準の引き上げにより、目が肥えている状態といえるでしょう。なんとなくの転職活動はすぐに見抜かれてしまう可能性が高く、どこからも内定がもらえない事態にもなりかねません。

「なぜ転職が必要なのか」「これからのキャリアをどのように考えているのか」「なぜこの企業に面接を受けようと思ったのか」など、これらの考えについて、一度、自分自身と向き合ってみることが大切です。

弊社のような転職支援会社では、転職活動の前にキャリアコンサルティングを行っている場合もあります。一度、転職のプロに自身のキャリアを整理してもらう機会を作ることも転職成功への近道です。



# 面接は事前準備が9割

薬剤師の売り手市場の時代では、内定が出る確率は8～9割と非常に高いものでした。しかし、昨今の買い手市場においてその確率は大きく下がり、首都圏では6～7割程度にまで落ち込んでいます。

買い手市場により、採用基準が上がったため「しっかりと面接対策・準備をしているか」という視点も合否を分ける判断材料になります。ただ、裏を返せば、面接対策をしっかりと行うことによって、内定を得られる可能性が格段に高まるということです。

服装や話し方、応募書類の作成、想定される質問への準備など、事前準備をどれだけ行うかで結果が9割決まると言っても過言ではありません。

弊社のような転職支援会社は、売り手市場の時代では「多くの求人を案内してくれること」が最大のサービスだと言われていました。しかし買い手市場の現在では、面接の準備や自己分析の手伝いなど、個人に寄り添った支援が大切だと言われています。面接準備を1人で行うのはとても大変な作業です。転職支援会社のサポートを頼ってみられるのも良いかもしれません。



# 04

キャリアカウンセリングとは

無料キャリア相談会

企業データ

# キャリアカウンセリングとは

キャリアカウンセリングとは—

「キャリアコンサルティング」とは、労働者の職業の選択、職業生活設計又は職業能力の開発及び向上に関する相談に応じ、助言及び指導を行うこと。（厚生労働省HPより）

弊社では、薬剤師のキャリア支援歴20年以上、のべ3000人以上の転職をお手伝いして参りました。また、キャリアについて体系的に学んだ「国家資格キャリアコンサルタント」が多数在籍しています。

専門家としての知識や経験と多数の薬剤師のキャリア事例の情報を駆使し、自己分析やキャリアの棚卸し、薬剤師転職市場についての解説を行っています。

薬剤師の需要と供給のバランス変化や、コロナによる経営状況の悪化により、薬剤師転職市場の買い手市場化が加速しています。

ご自身のキャリアを考えるため、転職市場に勝ち抜くために、ぜひこの機会をご活用ください。



# 開業・転職・キャリア相談を希望の方へ



## 薬剤師 ベストキャリア

私たちがご提供するのには単に「転職して終わり」ではない”キャリア支援”  
経験豊富な国家資格者が多数在籍し、キャリアや開業・ライフプランを通し  
「次の転職先をご紹介して終わり」ではない、皆さまの人生のステージ  
に寄り添った、長期的なお手伝いをいたします。

また、医療・介護専門の転職サポートに20年以上携わる当社だからこそ医療  
機関や求人詳細の情報量が圧倒的に豊富です。

[個別相談を予約](#)

# COMPANY DATA

社名 MRT株式会社  
設立年月日 2000年1月26日  
資本金 4億3,211万円  
本社所在地 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-18-2フレーム神南坂3階  
代表者 代表取締役 小川智也（医師）

[サービスの詳細を見る](#)

## 事業内容

医療情報のプラットフォームの提供

1. 医師及び看護師等の職業紹介
2. 医療機関の開設及び運営のコンサルティング
3. 医師が発信するオウンドメディアの運営
4. 医局向けグループウェアの運営
5. 遠隔診療・健康相談サービスの運営